

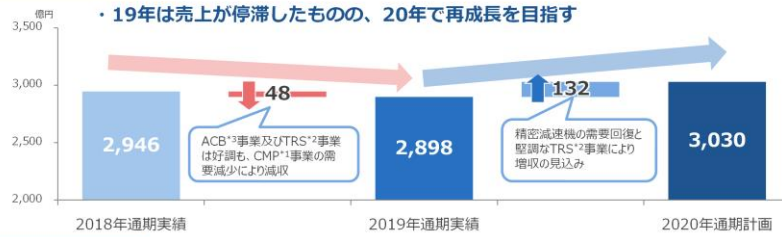
ナブテスコ株式会社 2019年12月期決算説明会

2020年2月17日
CEO 寺本 克弘

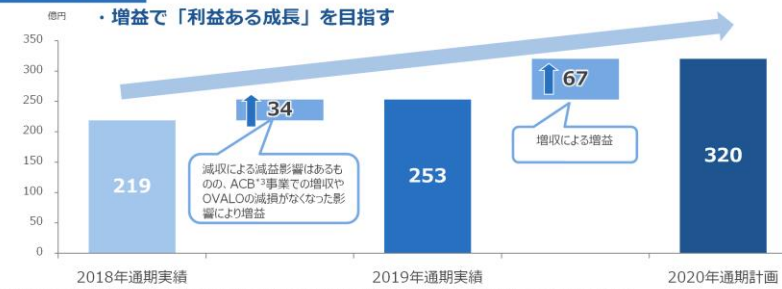
当資料に掲載されている内容は、種々の前提に基づいたものであり、掲載された将来の計画数値、施策の実現を確約したり、保証したりするものではありません。
当資料に掲載されている内容のうち数値、比率は四捨五入して表示しています。

本日の決算説明会での連結業績サマリー

売上高比較



営業利益比較



*1コンポーネントソリューションセグメント *2トランスポートソリューションセグメント *3アクセシビリティソリューションセグメント

Nabtesco

1. 2019年12月期連結業績概況

2. 2020年12月期見通し

3. 中期経営計画の進捗
(2017～2020年)

1. 2019年12月期連結業績概況

2. 2020年12月期見通し

3. 中期経営計画の進捗
(2017~2020年)

2019年12月期通期連結業績概況

■ 2019年12月期実績は通期修正計画に対し、ほぼ計画線

(単位：百万円)	2018/12	2019/12	2019/12	2019/12	前期実績比	修正計画比
	通期実績 (A)	2/8公表 通期計画	10/31公表 通期計画 (B)	通期実績 (C)	増減額 (C-A)	増減額 (C-B)
売上高	294,626	313,000	288,500	289,808	-4,818	1,308
営業利益	21,889	30,000	24,100	25,320	3,431	1,220
(営業利益率)	7.4%	9.6%	8.4%	8.7%	1.3pt	0.4pt
金融損益	-1,107	-	-	-205	902	-
持分法投資利益	9,181	-	-	2,864	-6,317	-
税引前利益	29,962	33,600	25,300	27,979	-1,983	2,679
当期利益* ¹	21,029	22,900	16,800	17,931	-3,098	1,131
ROA	6.7%	6.6%	5.0%	5.3%	-1.4pt	0.3pt
ROE	12.1%	12.3%	9.3%	9.8%	-2.3pt	0.5pt
一株当たり配当金	73円	73円(予)	73円(予)	73円(予)		
配当性向	43.0%	39.5%(予)	53.9%(予)	50.5%(予)		

Remarks :
 ● 2018年 ハーモニックドライブ社の増資に伴う持分投資利益 約57億円

*1 当期利益 = 親会社の所有者に帰属する当期利益

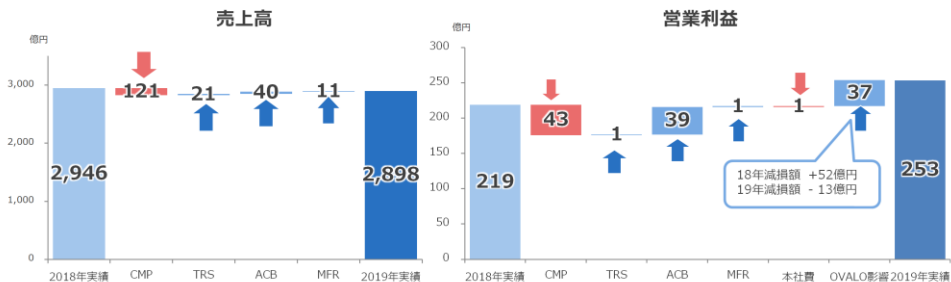
Nabtesco

5

精密減速機の売上は、期首や2Q時に説明した状況(下期回復)には至らず。

セグメント別売上高・営業利益変動要因分析（2018/12通期比）

■ 設備投資需要の停滞によるCMPの減収をACB等でカバー



- コンポーネント(CMP) : 売上高は設備投資需要の停滞が継続したことにより精密減速機で減収。油圧機器でも東南アジア市場の需要低迷により減収。営業利益は減収による減益。
- トランスポート(TRS) : 民間航空機向けの増収および船用機器での市況の緩やかな回復を受け増収増益。
- アクセシビリティ(ACB) : 売上高は国内外の建物用ドアおよびプラットフォームドア需要が堅調に推移し増収。営業利益は増収による増益に加え、18年度に発生したPMI (Post Merger Integration) コストがなくなり増益。
- マニファクチャリング(MFR) : 包装機の好調により増収増益。
- OVALO影響 : 18年の減損影響がなくなった。

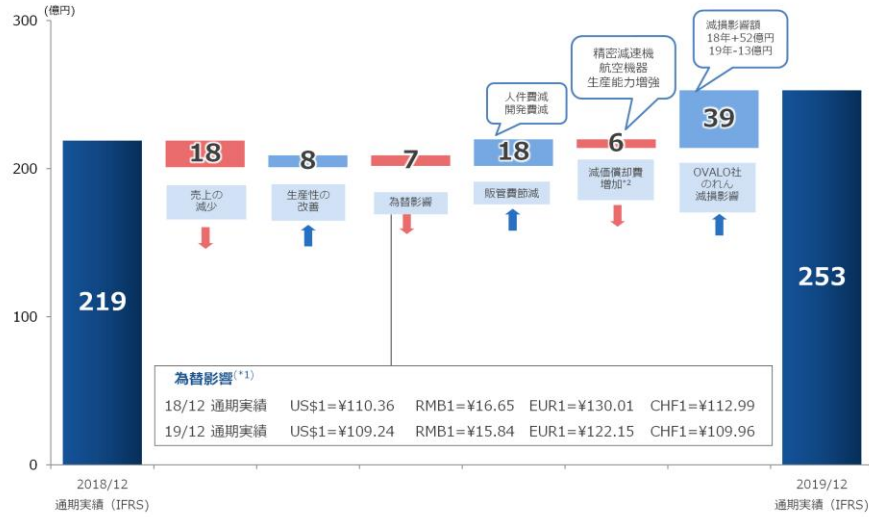
Nabtesco

6

CMPにおいては減収したが、他事業は総じて売上高は増加した。
 OVALO社については18年の52億円の減損が無くなったことにより増益。
 一方でリース資産はIFRS16号の適用によりオンバランスとなった結果、その資産額についても回収が必要となった。
 OVALO影響を除けばほぼ18年並みの結果となった。

全社営業利益変動要因分析（2018/12通期比）

■ 売上減少、為替影響に伴う利益減を販管費の節減等でカバー



*1 為替感応度(為替が1円変動したときの営業利益に対する影響): 米国ドル 76百万円 人民元 756百万円 ユーロ 軽微 スイスフラン 軽微
 *2 IFRS16号「リース」による増加影響除く

バランスシート（2018/12期末比）

■IFRS16号「リース」適用による使用権資産(約90億円)が増加

(単位：百万円)

	2018/12期末 2018年12月31日	2019/12 期末 2019年12月31日	差異
資 産	328,568	344,558	15,990
(現 預 金 等)	54,039	58,686	4,647
(売 上 債 権)	76,602	70,175	-6,427
(棚 卸 資 産)	43,592	41,257	-2,334
(有 形 固 定 資 産)	80,573	87,083	6,510
(使 用 権 資 産)	0	9,004	9,004
負 債	139,313	145,424	6,112
(社 債 及 び 借 入 金)	45,310	43,936	-1,375
資 本	189,255	199,133	9,878
(非 支 配 持 分)	10,553	11,735	1,182
親 会 社 所 有 者 帰 属 持 分	178,702	187,398	8,696
親会社所有者帰属持分比率：	54.4%	54.4%	

1. 2019年12月期連結業績概況

2. 2020年12月期見通し

3. 中期経営計画の進捗
(2017~2020年)

2020年12月期通期連結業績計画

■ 精密減速機の下期需要回復及びTRS事業・包装機が堅調に推移し増収増益を見込む

(単位：百万円)	2019/12	2020/12	前期実績比	前期実績比
	通期実績 (A)	通期計画 (B)	増減額 (B-A)	増減率 (B-A)/A
売上高	289,808	303,000	13,192	4.6%
営業利益	25,320	32,000	6,680	26.4%
(営業利益率)	8.7%	10.6%	1.8pt	-
税引前利益	27,979	34,000	6,021	21.5%
当期利益*1	17,931	23,100	5,169	28.8%
ROA	5.3%	6.5%	1.2pt	-
ROE	9.8%	12.0%	2.2pt	-

一株当たり配当金	73円(予)	82円(予)
配当性向	50.5%(予)	44.1%(予)

*1 当期利益 = 親会社の所有者に帰属する当期利益

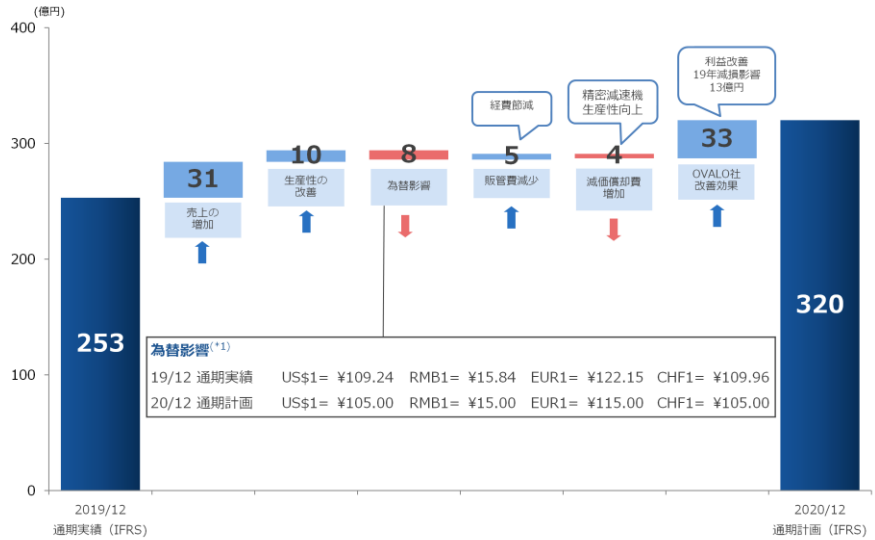
Nabtesco

10

2020年については、コロナウィルス等の影響は織り込んでいない。

全社営業利益変動要因分析（2019/12通期比）

■各事業での増収に加え、OVALO社の改善により増益



*1為替感応度(為替が1円変動したときの営業利益に対する影響)： 米ドル 57百万円 人民元 815百万円 ユーロ 軽微 スイスフラン 軽微

Nabtesco

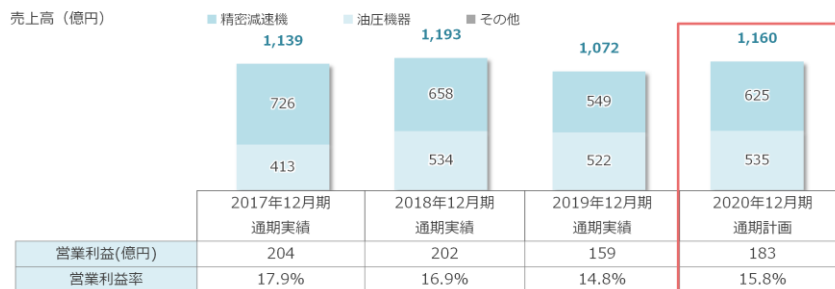
11

売上の増加については、精密減速機の増収を一定量織り込んでいる。
 販管費の減については、遊休固定資産の売却益15億円を含めている。

コンポーネントソリューションセグメント (CMP)

■産業用ロボット向けの精密減速機で下期に需要回復を見込むとともに、油圧機器は堅調な中国での建設機械需要に加え、東南アジアでの需要回復により増収の見通し。

業績実績及び計画



2019/12通期実績 対 2020/12通期計画

精密減速機 : 自動車向けの設備投資需要の回復を見込み増収の見通し。

油圧機器 : 中国はインフラ投資により需要は堅調。東南アジアでの需要回復を見込み増収の見通し。

セグメント営業利益 : 増収に伴う増益の見通し。

Nabtesco

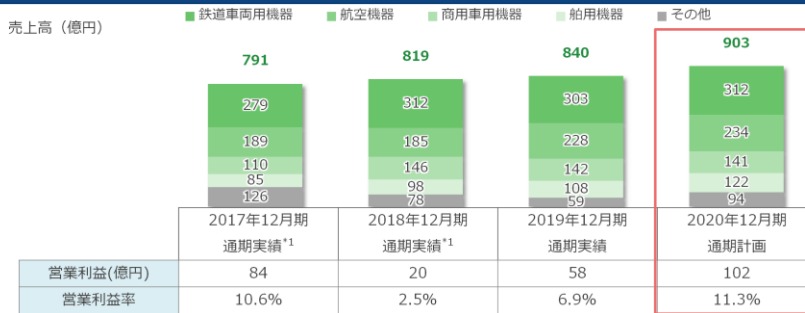
12

精密減速機については上期300億円、下期325億円とやや下期偏重としている。
300億円の内、約180億円の受注残高を持っている。
CMPの利益率については15.8%であり、18年度の利益率にはまだ及ばない。

トランスポートソリューションセグメント (TRS)

■ 鉄道車両用機器の海外案件の増加、船用機器は市況の緩やかな回復が継続し増収の見通し。

業績実績及び計画



*12018/12通期実績以降開示数値の調整方法が変更したため2017/12の開示数値と単純比較できません。

2019/12通期実績 対 2020/12通期計画

- 鉄道車両用機器 : 国内需要の端境期が継続するものの、海外案件の増加により増収の見通し。
- 航空機器 : B777X向けの量産開始となるものの前年並みの見通し。
- 商用車用機器 : 国内需要は厳しさを増すものの前年並みの見通し。
- 船用機器 : 市況の緩やかな回復が継続し増収の見通し。
- その他 : OVALO社では通年で量産稼働により増収の見通し。
- セグメント営業利益 : OVALO社の減損の影響がなくなるとともに、増収により増益の見通し。

Nabtesco

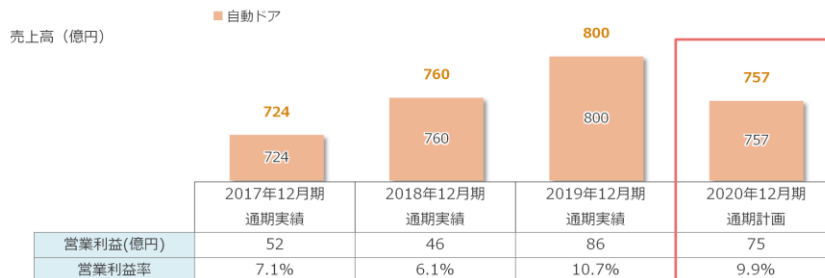
13

20年の営業利益についてはOVALOの減損の影響が無くなることに加え、19年からAudi向けの量産が立ち上がっている効果があり増益の見通し。

アクセシビリティソリューションセグメント（ACB）

■ 国内でのオリンピック・パラリンピック期間での一時的な減少、及び海外プラットホームドア案件が端境期に入ることにより、減収の見通し。

業績実績及び計画



2019/12通期実績 対 2020/12通期計画

自動ドア：建物用ドアは海外需要は堅調に推移するものの、国内でのオリンピック・パラリンピック期間中の一時的な減少、及び海外プラットホームドア案件が端境期となり減収の見通し。

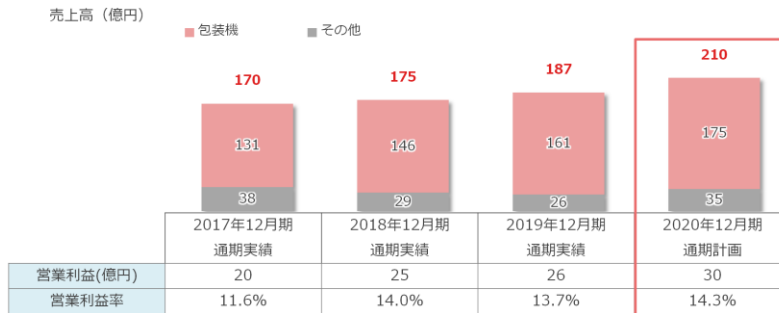
セグメント営業利益：減収による減益の見通し。

20年度はプラットホームドア案件が減少し、オリンピック期間中の物流の関係で工事が進まなくなる分を含めている。なおコロナウィルスの影響については織り込んでいない。

マニュファクチャリングソリューションセグメント (MFR)

■ 主要事業の包装機の海外市場拡販により、増収増益の見通し。

業績実績及び計画



2019/12通期実績 対 2020/12通期計画

包装機 : 国内市場向けは堅調に推移することに加え、海外でのペットフードや食品分野での拡販により増収の見通し。

セグメント営業利益 : 増収に伴う増益の見通し。

設備投資額・研究開発費・減価償却費

■ 設備投資額、研究開発費とも中期経営計画レベルで推移

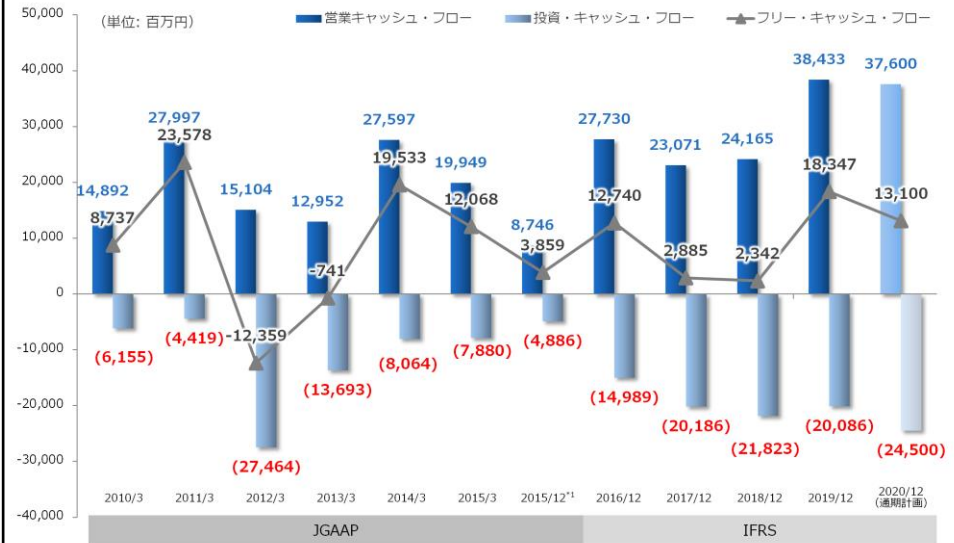
- 2020年は精密減速機の将来の需要拡大を想定し、静岡新工場用地の取得(57億円)を実施
- 環境関連投資も継続して実施

(単位：億円)	2017/12	2018/12	2019/12	2020/12	2017-20 4カ年累計	2017-20 中期計画
	通期実績	通期実績	通期実績	通期計画		
設備投資額	152	203	164	241	760	770
研究開発費	87	102	99	115	403	400
減価償却費	90	100	131*	135*		

* 2019年12月期よりIFRS16号「リース」を適用したため、減価償却費が増加しています。

連結キャッシュ・フロー

■ 成長市場への設備投資を実施しながらもフリーキャッシュ・フローはプラスで推移



*1 「2015年12月期末実績(参考値)」として示す業績数値は、「2016年12月期末実績(1-12月)」に対して、同条件で比較を行うため、比較対象期間を同期間(12カ月間)に置き換えて算出した数値となりますのでご留意下さい。

1. 2019年12月期連結業績概況

2. 2020年12月期見通し

3. 中期経営計画の進捗
(2017～2020年)

中期経営計画でのコミットメント

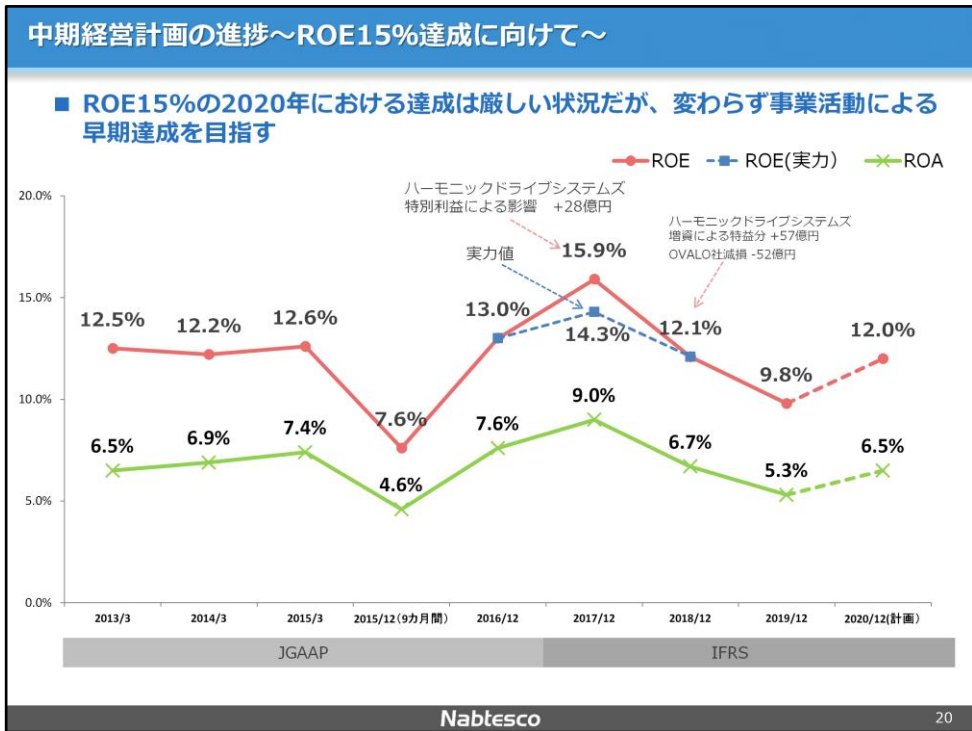
ROE15%達成

連結配当性向35%以上

ESG課題の解決に注力

Nabtesco

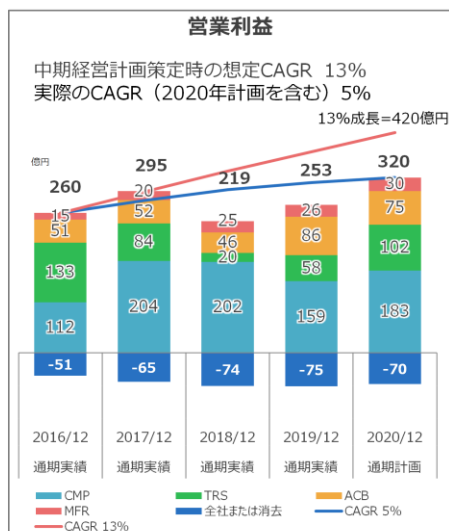
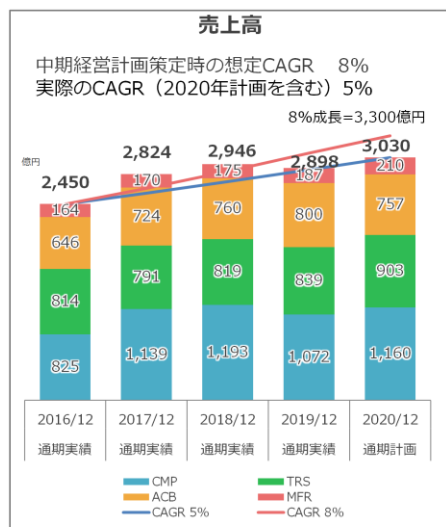
19



16年に中期計画を立てたときには13%からスタートしている。
 精密減速機はなだらかに増収する計画であったが米中貿易摩擦の影響により落ち込んでいる。

中期経営計画の期間中の成長について

- 中期経営計画策定時と比べ、売上高、利益ともに成長率の乖離はあるものの、利益ある成長を継続



中期経営計画策定時との環境変化点

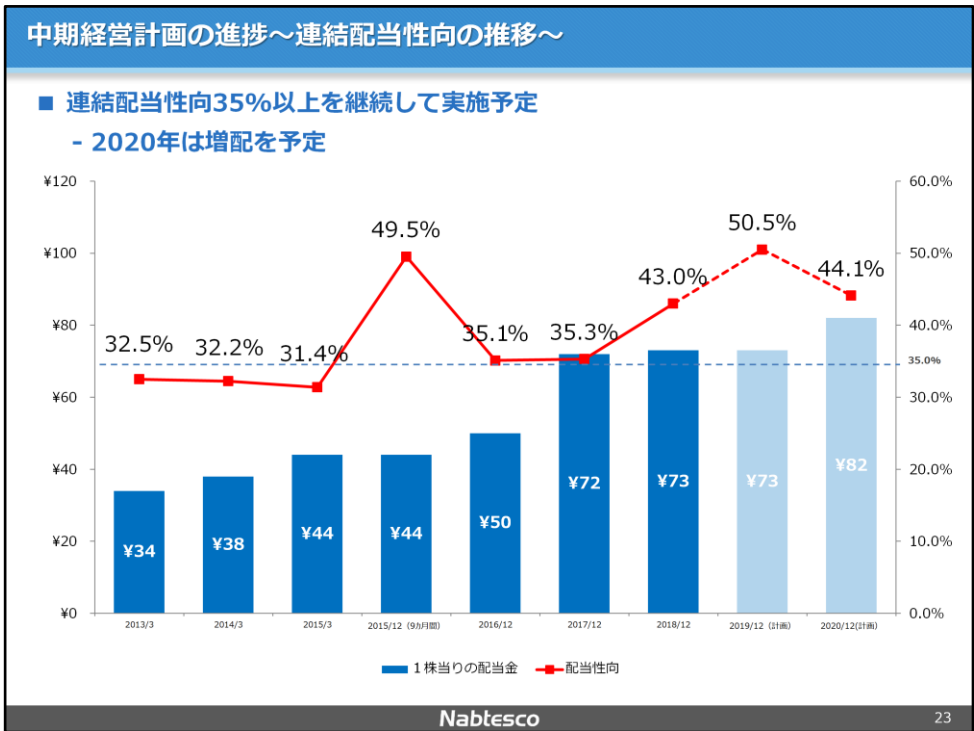
事業環境

事業環境	策定時	現在
精密減速機	堅調な成長を続ける	米中貿易摩擦の影響により、自動車を中心とした設備投資需要の低迷
OVALO	売上は2018年から加速	量産移行が想定より遅れ、2020年から加速
鉄道車両用機器	中国高速鉄道は中速も含め段階的に国産化	中高速案件が想定より発現せず

競争環境

策定時と大きく変化なし
引き続き各事業とも市場シェアを維持

大きく差があるのは精密減速機。17年に大きな需要があったが、その反動減や米中貿易摩擦により設備投資需要が低迷した。



2020年の配当性向は44.1%で配当額は82円だが、20年にROE15%を達成した場合に出し得た利益額から配当性向35%を逆算した金額である。

中期経営計画の進捗～ESG課題解決に注力～

■各領域におけるテーマを着実に推進

-G：「経営の透明性確保」「リスク管理・コンプライアンスのグローバル化」「非財務情報の発信充実」

-S：「組織の活力の更なる向上」「人材育成の強化」

-E：「気候変動対応」「環境負荷低減」

ESG分類	マテリアリティ (重要なCSR課題)	2017/12期	2018/12期	2019/12期	2020/12期
ガバナンス (G)	コーポレート・ガバナンスの強化	<ul style="list-style-type: none"> ■株式給付信託制度を導入 	<ul style="list-style-type: none"> ■CG基本方針を改訂 	<ul style="list-style-type: none"> ■相談役・顧問制度を廃止 	<ul style="list-style-type: none"> ■社外取締役比率を向上へ
	リスク管理とコンプライアンスの徹底	<ul style="list-style-type: none"> ■全社横断的なリスク管理を徹底 ■腐敗防止・カルテル防止強化 	<ul style="list-style-type: none"> ■リスクアセスメント対象を全グループに拡大 ■腐敗防止・カルテル防止のローカルルール整備 	<ul style="list-style-type: none"> ■内部通報制度のグローバル化を完了 	<ul style="list-style-type: none"> ■リスクアプローチに基づく研修活動をグローバルに展開
	ステークホルダーとの積極的な対話	<ul style="list-style-type: none"> ■統合報告書の充実 		<ul style="list-style-type: none"> ■ESG説明会開催 ■ESGデータ集掲載 	<ul style="list-style-type: none"> ■マテリアリティの再検討
社会 (S)	働きやすい職場の確保	<ul style="list-style-type: none"> ■業務改革推進室を設置 ■グループ内で人権DDを実施 	<ul style="list-style-type: none"> ■テレワーク導入 ■スマートワーク賞与導入 	<ul style="list-style-type: none"> ■システム導入(PPA, AI活用) ■健康経営促進 	<ul style="list-style-type: none"> ■オフィス変革推進 ■選択型キャリア研修への移行
		<ul style="list-style-type: none"> ■CO2長期削減目標を制定 ■環境関連インセンティブの設定 	<ul style="list-style-type: none"> ■環境設備投資の推進(太陽光発電) 	<ul style="list-style-type: none"> ■TCFD賛同表明 ■フロン排出抑制法への対応を加速 	<ul style="list-style-type: none"> ■工場スマート化推進(再エネ活用) ■製品の有害物質管理、LCA検討

Nabtesco

24

ガバナンスにおいては相談役・顧問制度を廃止した。20年には社外取締役比率を30%から1/3へ向上させたい。

また、女性管理職の比率も向上させていく。

社会においては、業務改革推進室を設置して以降、テレワークの導入や働き方改革を進めている。今年度についてはオフィス変革も行っていく。

環境においては、引き続き太陽光発電の設置も進め、工場のスマート化や見える化の推進を進める。

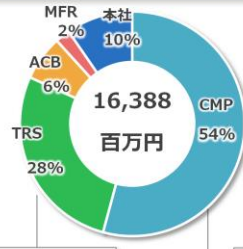
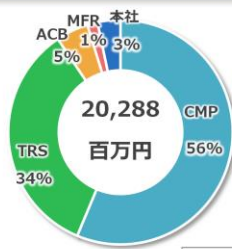
ESG評価機関による評価/ESG Index組入れ状況

	2016	2017	2018	2019
DJSI Asia Pacific	★ (2013~)	★	★	★
DJSI World	★	★	★	★
FTSE4Good	★ (2009~)	★	★	★
FTSE Blossom Japan		★	★	★
MSCI ESG Leaders Indexes	★ (2015~)	★	★	★
MSCI ジャパンESG セレクトリーダーズ		★	★	★
MSCI女性活躍指数			★	
S&P/JPX カーボン エフィシエント				★
CDP CLIMATE CHANGE		★	★	★
CDP WATER SECURITY			★	
CDP SUPPLIER ENGAGEMENT LEADER		★	★	

うごかす、とめる。
Nabtesco

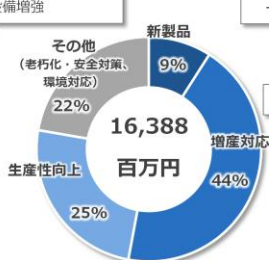
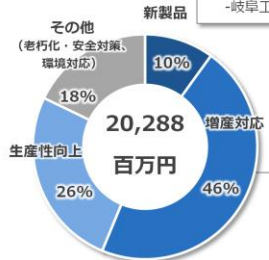
Appendix

設備投資額内訳



- 精密減速機
- 日本での増産投資(建屋)
- 航空機器
- 岐阜工場設備増強

- 精密減速機
- 静岡の土地買収
- OVALO GmbH
- 新製品の量産対応



- 環境関連投資

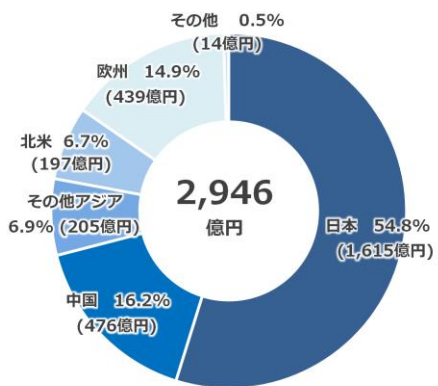
2018/12通期実績

2019/12通期実績

2020/12通期計画

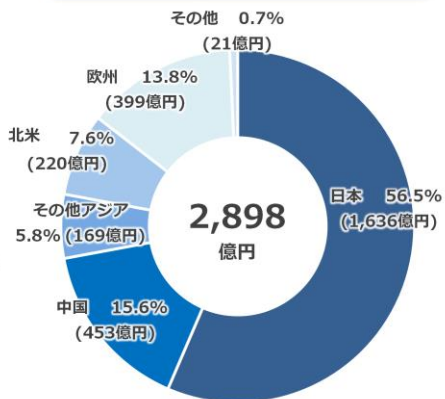
地域別売上高構成比

2018/12 通期実績



海外売上高	1,332億円
海外売上高比率	45.2%

2019/12 通期実績

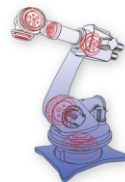
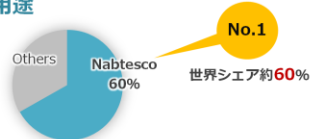


海外売上高	1,262億円
海外売上高比率	43.5%

コンポーネントソリューションセグメント (CMP) 主要製品

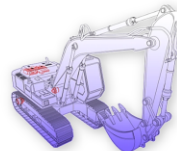
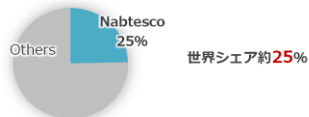
精密減速機

■ 中大型産業用ロボットの関節用途



油圧機器

■ 油圧ショベル用走行ユニット



主要顧客 (敬称略)

■ 精密減速機

産業用ロボット：ファナック、安川電機、川崎重工業、KUKA Roboter (独)、ABB Robotics (スウェーデン)
工作機械：ヤマザキマザック、オークマ、DMG森精機

■ 油圧機器

走行ユニット：コマツ、住友建機、コベルコ建機、Sany (中)、XCMG (中)、Liu Gong (中)

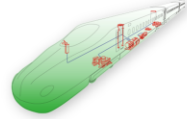
トランスポートソリューションセグメント (TRS) 主要製品

鉄道車両用機器

■ 鉄道車両用ブレーキシステム



■ 鉄道車両用ドア開閉装置



航空機器

■ フライトコントロール・アクチュエーションシステム(FCA)

- FCAでは世界4強の1社(ボーイングの主要サプライヤー)
- エンジン補機、電源システム等へも事業展開



主要顧客 (敬称略)

■ 鉄道車両用機器

JR各社、民鉄各社、川崎重工業、中国高速鉄道・都市交通向け

■ 航空機器

Boeing (米)、川崎重工業、三菱重工業、IHI、防衛省、エアライン各社

トランスポートソリューションセグメント (TRS) 主要製品

商用車用機器

■ 商用車用ウェッジチャンバー

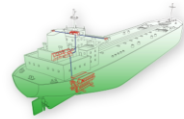


■ 商用車用エアドライヤー



船用機器

■ 船用エンジン遠隔制御システム



主要顧客 (敬称略)

■ 商用車用機器

日野自動車、いすゞ自動車、三菱ふそうトラック・バス、UDトラックス

■ 船用機器

川崎重工業、マキタ、(株)日立造船、三井造船、(株)ジャパンエンジンコーポレーション、Hyundai Heavy Industries (韓)、HSD Engine Co., Ltd.(韓)、Hudong Heavy Machinery (中)、MAN Diesel (デンマーク)

アクセシビリティソリューションセグメント (ACB) 主要製品

自動ドア

■自動ドア開閉装置



■プラットホームスクリーンドア



主要顧客 (敬称略)

■自動ドア

各種建物用自動ドア：大手ゼネコン他建設工事会社、サッシメーカー、病院、銀行、公共機関
プラットホームドア：フランス地下鉄、中国地下鉄、他

マニュファクチャリングソリューションセグメント (MFR) 主要製品

包装機

■レトルト食品用充填包装機



主要顧客 (敬称略)

■包装機

三井製糖、味の素、丸大食品、アリアケジャパン、ケンコーマヨネーズ、P&G、花王、ライオン、北米飲料メーカー、中国食品メーカー

Nabtesco

33

うごかす、とめる。
Nabtesco